

工 事 番 号							
設計年度	令和 7 年度	三原西処理分区宅内マンホールポンプ新設工事 (7-1) 仕様書 公共下水道事業 三原市西宮二丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
・ 路線延長 (汚水単独) L=14.0m 管体延長 (開削) φ50 L=13.4m マンホールポンプユニット N=1基 ポンプ制御盤 N=1基 引込開閉器盤 N=1基 付帯工 A=3.1m <sup>2</sup>							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市西宮二丁目 公共下水道事業 三原西処理分区宅内マンホールポンプ新設工事（7-1）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・土木工事共通仕様書 令和7年8月 広島版  
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
  - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
  - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
  - ・公共建築工事標準仕様書（電気・機械設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
  - ・公共建築設備工事標準図（電気・機械設備工事編） 最新版 国土交通省官庁営繕部
  - ・機械設備標準仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
  - ・機械設備工事必携 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
  - ・機械設備工事一般仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
  - ・電気設備一般仕様書 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
  - ・電気設備工事必携 最新版 地方共同法人日本下水道事業団
  - ・日本産業規格（JIS） 最新版
  - ・揚排水ポンプ設備技術基準・同解説 最新版
  - ・下水道施設計画・設計指針と解説 最新版
  - ・日本電気工業会標準規格（JEM） 最新版
  - ・日本電気規格調査会（JEC） 最新版
  - ・中国電力（株）内線規程 最新版
  - ・電気設備技術基準 最新版
  - ・その他関連規格類

## 第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

## 第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

## 第4節 情報共有システム

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 情報共有システムを利用した書類は、決裁データ等を整理して中間検査時・工事完成時にCD-R又はDVD-R(中間検査時1部、完成時2部)にて提出すること。ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。
- 5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。  
検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。
- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第5節 週休2日適用工事

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

## 第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

## 第7節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

## 第8節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
  - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工 程

#### 1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

### 第2節 用 地

- 1 借 地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

### 第3節 公害対策

#### 1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範囲	別途協議による。

#### 第4節 安全対策

##### 1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、開削工事1（人/日）を見込んでいる。

#### 第5節 工事用道路

##### 1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

#### 第6節 建設副産物

##### 1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント（三原市沼田東町納所409）

なお、工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

##### 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30

日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第7節 その他

### 1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

## 第3章 設計金額

### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和7年8月広島版）『第1編 1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

## 第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

## 第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- (1) 原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- (2) 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。
- (3) 応急処置 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。
- (4) 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。

## 第6節 施工合理化調査等

当該工事において受注者は、施工合理化調査等の対象なった場合、資料作成等に協力しなければならない。

## 第7章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。  
また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 特記仕様書 機械電気編

## 第1章 総則

### 1. 適用範囲

本特記仕様書は、三原市西宮二丁目 公共下水道事業 三原西処理分区宅内マンホールポンプ新設工事（7-1）のマンホールポンプユニット及び制御盤の製作、設置工事に適用する。

### 2. 使用目的

本マンホールポンプユニットは地下埋設し、下水を一時的に貯留し、ポンプ圧送することを目的とする。

### 3. 一般事項

- (1) 本特記仕様書は、三原市に設置するマンホールポンプユニット設備に適用するもので、本特記仕様書、設計図面に基づきこれらに記載された機器類を製作して、監督員による運転性能試験又は製作工場の社内運転性能試験を実施し、書類審査並びに運転性能試験に合格した後、現地搬入とする。
- (2) 本特記仕様書に特に定めていない事項については、監督員との打合せによるものとする。
- (3) 工事施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続は、監督員の承諾を得、受注者において迅速に処理するものとする。

### 4. 施工範囲

本工事の施工は、上記の設計、製作、据付、配管、配線工事並びに試運転、調整、予備運転までとする。

### 5. 施工上の留意事項

機器の設計、製作に際しては、十分現地調査を行うと共に監督員と協議の上、施工すること。

### 6. 納品図書

納品図書は、マンホールポンプ選定計算書（容量選定、水位高及び容量根拠明示のこと・ポンプ能力選定）、ユニット強度計算書、ユニット強度試験成績書、ユニット製作仕様書、制御盤図、電気結線図、ユニット試験成績書、制御盤試験成績書、試運転記録書、及びその他の必要な書類・図面を各3部（返却用1部を含む）提出するものとする。

## 7. 検査

製作工場において、マンホールポンプユニットは内部に配管等を組込完成後、水圧試験、性能試験を実施し、制御盤は耐圧試験、動作試験を実施する。設置後は現地において総合試運転を実施し、正常な運転が行われていることを確認するものとする。

## 8. 材料保管

工事の竣工までの機器、材料の保管の責任は受注者にあるものとする。

## 9. 保証期間

- (1) 機器の保証期間は規定による引渡を受けた日から2年間とする。
- (2) 保証期間内に明らかに受注者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、受注者の責任において直ちに修理又は取替をしなければならない。

## 第2章 機器類

### 1. ユニット本体

#### (1) 仕様

型 式	着脱式マンホールユニット
容 量	選定計算及び設置条件を充たす容量とする
寸 法	幅 850 mm×長さ 850 mm×1700 mm高

#### (2) ユニット本体強度

T-14以上の強度を有する。

#### (3) 構造概要

##### ① 構造

本ユニット本体は、漏水・不明水を避ける為、分割躯体を避け、タンク内にポンプ・内部配管等を組込完成させた一体成型とする。

また、浮上防止機能を有するリブ型外型とする。

##### ② 材質

不透性・腐食性を有し、軽量化及び耐久性（耐硫化水素ガス）を確保する為、P V F R製とする。

##### ③ 流入口

VU100の受け口を設ける。

##### ④ 圧送口

50A フランジ付きとする。

##### ⑤ 逆止弁・仕切弁

50A SUS製のボール式とする。

⑥ 空気抜き弁

20AのSUS製のボール式とする。

⑦ 点検口

φ600で公道マンホール取り付け用のフランジを設け、三原市型のマンホール蓋を設置するものとする。

⑧ その他

付属品等は監督員と打ち合わせの上決定し、宅内マンホールポンプユニットに付帯する。

内部配管は、維持管理上、問題のないよう要所で分解可能な構造とする。

## 2. ユニット内蔵ポンプ

### (1) 仕様

① 形式 着脱式水中汚水汚物ポンプ 2台  
(渦流式〔ボルテックス〕ポンプ)

② 口径 50mm (異物の通過粒径は70% (35mm)) 以上とする。

### (2) ポンプ能力

ポンプは、ポンプ選定指針に基づき、計画汚水量を十分に揚水できる能力のポンプを選定する。

### (3) 構造概要

#### ① 構造

本ポンプは、汚水を揚水するもので水中において連続運転に耐え騒音や振動がなく、円滑に運転できると共に、特に有害なキャビテーション現象が発生しないような堅ろう構造とすること。

#### ② ケーシング

ポンプケーシングは、内部圧力及び振動等に対する機械的強度並びに、腐食、磨耗を考慮した良質の製品とする。また、ケーシングは、分解・組立が容易であるものとする。

#### ③ 羽根車

ポンプ羽根車は、良質強靱なる製品とし固形物の混入に対して堅ろうで詰まり難い構造とし、バランスが充分に取れ、回転時に振動、騒音を引き起こす原因にならない構造とすると共に表面を滑らかに仕上げる。

#### ④ 主軸

主軸は、電動機軸を延長したもので、伝達トルク及び振り振動に対して十分な強度を有すること。

#### ⑤ 軸受

回転部重量及び水カスラストは、電動機に内装した軸受けにて支持するものとし長時間の連続運転に耐え円滑な自己潤滑ができる構造とする。

⑥ 軸封装置

軸封部は、メカニカルシールを用い運転中、停止中を問わず異物がモーター内に浸入しないように軸封油（潤滑油）を密封した二段構造とする。またシールの取替は、容易な構造とする。

⑦ その他

配管との接続フランジ寸法は、J I S規格又は水道規格とする。

### 3. 制御盤

(1) 制御盤仕様及び数量

① 形式 屋外装柱型

② 材質 鋼板製

③ 塗装 5 Y 7 / 1

(2) 盤の主要構造材は、収納機器の重量、作動による衝撃などに充分耐える高度を有するものとする。

(3) ドアには市指定の鍵を設ける。

(4) 屋外型は防雨性を有し雨水のたまらない構造とする。

(5) 盤類の形状及び寸法は、設計図を参照し、納品図書において決定するものとする。

(6) 盤内に自動・手動・停止の切換スイッチを設ける。

(7) 電源、運転、異常を示すランプを設ける。

(8) 盤内に電源用アレスタを設ける。

### 4. 水位計

水位計の種類はフロート式水位計とする。

## 第3章 ポンプ運転制御

### 1. 運転方案の概要

┌	• 自動	— No. 1	No. 1 ポンプ自動運転
	• 自動	— No. 2	No. 2 ポンプ自動運転
	• 自動	— No. 1 + No. 2	No. 1・2 ポンプによる並列交互運転
└	• 手動	— No. 1	No. 1 ポンプ手動運転
	• 手動	— No. 2	No. 2 ポンプ手動運転

### 2. 水位制御による自動運転

(1) 運転方式

①交互運転

ポンプ 2 台の内 1 台が始動し、残りの 1 台は待機する。運転中のポンプが停止水位 (LWL) まで低下すると自動停止し、再び水位の上昇により起動水位 (H1WL) に達すると、先ほど待機していたポンプが始動し、停止したポンプは待機状態に入る。以後もこれを繰り返して交互に運転を行う。

②とび越し運転

故障などにより運転順位にあるポンプが始動しない場合は、待機順位にあるポンプが始動し排水を行う。その後、停止水位 (LWL) まで低下すると自動停止する。

③並列運転

水位の上昇により並列運転水位 (H2WL) に達した場合は、待機状態にあるポンプが既に運転状態にあるポンプを追いかけて始動し、2 台の並列 (同時) 運転を行う。その後、水位が停止水位 (LWL) まで低下すると、2 台が同時に自動停止する。

④強制運転

異常高水位 (HHWL) に水位が達した場合は別回路で、2 台のポンプを強制的に始動させ、タイマー運転した後、自動停止する。

(2) 異常警報

異常高水位 (HHWL) に水位が達した時及び、ポンプ異常発生時に制御盤に設置した異常ランプが点灯し、同時にブザーと回転灯で異常を発報する。

① ポンプ過負荷

② 異常高水位 (HHWL)

③ 漏電

(3) ポンプの水位検出方法と自動運転

ユニット内に設置したフロート式水位計により、水位レベルを検出し、ポンプの自動運転を行う。検出するレベルは、次の 4 点とする。

① 異常高水位 (HHWL)

異常高水位警報を発しポンプを強制運転させる。強制運転は通常の制御回路から独立して行う。

② 並列運転水位 (H2WL)

ポンプ 2 台が並列運転。停止水位 (LWL) まで運転後に停止する。

③ 起動水位 (H1WL)

ポンプ 1 台が自動運転。停止水位 (LWL) まで運転後に停止する。

④ 停止水位 (LWL)

運転しているポンプが停止する。

(4) 異常発生時の運転方案

ポンプ異常の警報としてランプ点灯、回転警告灯で発報する。

① 異常高水位感知（異常を発報し、ポンプ強制運転後タイマー運転で停止する。  
シーケンサ故障時はフロート振幅間で停止する。）

② 過負荷、漏電感知（異常を発報し、強制的に自動停止する。）

(5) 自動間欠運転機能

水位制御による自動運転を補うものとして、時間設定による自動間欠運転機能を有する。これは、一定時間の間隔でポンプを始動させるもので、停止水位（LWL）より水位が上昇することにより時間を刻み始め、実水位が運転開始水位（H1WL）に到達していなくても、設定された時間を過ぎるとポンプを始動させる。始動したポンプは、停止水位（LWL）まで排水して停止する。長時間ユニット内での汚水の滞留により、汚泥の沈殿、汚水の腐敗、スカムの発生をおさえる目的の為、基本的には1時間後にポンプが始動するように設定することとするが、個々のポンプの起動頻度などによっては、設定時間を変更することができるものとする。

## 第4章 マンホールポンプユニット据付工事

### 1. ユニット本体据付工事概要

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。さらに、作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
- (2) 機器の搬入、据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 機器の据付の詳細については、施工図を提出の上、監督員の指示を受けること。
- (4) 配管工事
  - ③ 配管の接合は漏水がないように正確、確実にこなうこと。
  - ④ 配管の固定は、堅ろうに取り付けのこと。

### 2. 電気設備工事概要

- (1) 本工事は、マンホールポンプユニット設置に必要な電源の引き込み、ポンプ制御盤の製作、据付、電気配線工事、試運転調整の一切を行なうものである。また、工事に先立って必要な関係官公庁との協議、許可申請等の手続き作業も本工事に含むものとする。
- (2) 設備工事の内容の概略は下記の通りである。
  - ① 電源の引き込み工事
  - ② ポンプ運転制御盤及び計装盤の製作・据付
  - ③ ポンプ・水位計までの電気配線工事

- ④ 試運転調整
- (3) 制御盤の据付工事
  - ⑤ 盤の据付  
盤は所定の金具で壁に強固に取り付けること。
  - ⑥ 接地工事  
接地工事の接地極には、接地銅板または連結式接地棒を使用し、各種接地抵抗値の基準値内になるように施工すること。
- (4) 引込受電柱の建柱  
受電柱を設けなければならない場合は、建柱位置はマンホール近傍とし、建柱にあたっては監督員の指示によるものとする。

# 工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(開削工法)		式	1	レベル1
管きよ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管		m	13.4	レベル4
埋設標識テープ		m	8.9	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎		m	8.9	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立2号マンホール		箇所	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	19	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装版破碎(小規模)		m2	7	レベル4
殻運搬処理		m3	0.3	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m2	3	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m2	4	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m2	2	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2	3	レベル4
コンクリート舗装		m3	0.1	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m2	4	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
**直接工事費**				
共通仮設費率分				
**共通仮設費計**				
**純工事費**				
現場管理費				



# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
電気設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象外		式		1	レベル4
**機器費**					
設備工		式		1	レベル1
電気設備工		式		1	レベル2
輸送費		式		1	レベル3
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
技術労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
複合工		式		1	レベル4
直接経費		式		1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
機械経費		式	1	レベル4
**直接工事費**				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
準備費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
**共通仮設費**				
**純工事費**				
現場管理費				
据付（技術者）間接費				
据付（機 器）間接費				
**据付工事原価**				
設計技術費				
**工事原価**				
一般管理費率分額				
契約保証費				
**一般管理費計**				



# 工事数量総括表

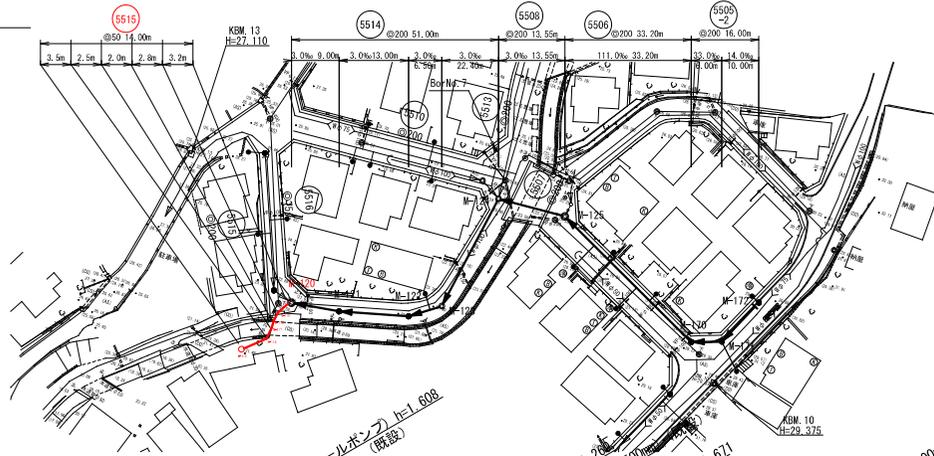
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
設備工（機器費）		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
ポンプ設備工		式		1	レベル3
設計技術費対象外		式		1	レベル4
**機器費**					
設備工		式		1	レベル1
ポンプ設備工		式		1	レベル2
輸送費		式		1	レベル3
材料費		式		1	レベル3
直接材料費		式		1	レベル4
補助材料費		式		1	レベル4
労務費		式		1	レベル3
一般労務費		式		1	レベル4
機械設備据付労務費		式		1	レベル4
複合工費		式		1	レベル3
複合工		式		1	レベル4
直接経費		式		1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
機械経費		式		1	レベル4
仮設費		式		1	レベル3
**直接工事費**					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
**共通仮設費**					
**純工事費**					
現場管理費					
据付間接費					
**据付工事原価**					
設計技術費					
**工事原価**					
一般管理費率分額					
契約保証費					
**一般管理費計**					

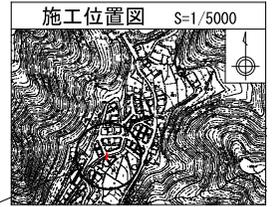
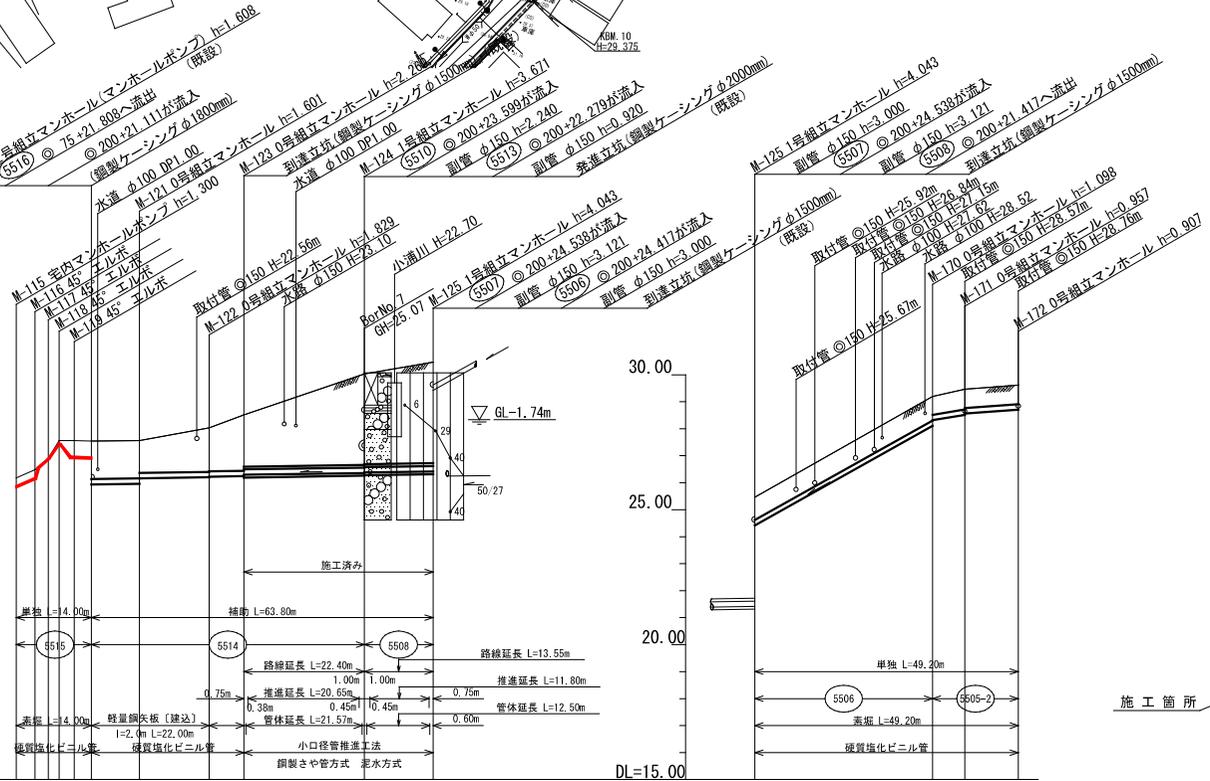


汚水平面図 S=1:500



汚水縦断図 V=1:100 H=1:500

- 凡 例
- 汚水実施
- 雨水概設
- 汚水概設
- 雨水針面
- 汚水針面
- 雨水同一施工
- 汚水同一施工
- ⊙ 2号マンホール
- ⊙ 1号マンホール
- ⊙ 0号マンホール
- 埋設型小型マンホール
- 汚水樹取付
- 雨水樹取付
- 外副管設置
- 内副管設置
- 水道管
- ガス管
- N T T 地下ケーブル
- 中電地下ケーブル



施工箇所

管番号	管径	工法	延長
5515	φ50	閉閉・単独	補助 14.00
計			14.00

管径	mm	勾配	‰	区間距離	m	地盤高	土被	管底高	掘さく深	追加距離	測点
φ50		3.0									
φ200											
φ200(φ400)											
φ200											

令和7年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)

工事名 三原西処理分区分宅内マンホールポンプ 新設工事 (7-1)

工事場所 三原市 西宮二丁目

施工管番号 5515

図面番号 1 縮尺 図示

平面図・縦断面図

三原市

# － 参 考 資 料 －

令和 7 年度

三原西処理分区宅内マンホールポンプ新設工事(7-1)

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-07. 10. 01(0)  1 公共(一般)		≪凡例≫ Co・・・コンクリート      As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック      BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン      TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事(2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
	1	式			
管きよ工(開削)					Y1I0101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101 レベル4
	1	式			
掘削 土砂 現場制約あり					SPK25040001 00
	1	m3			単第0 -0001 表
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離20m以下					SPK25040022 00
	1	m3			単第0 -0002 表
機械掘削工(小型バックホウ)					SG1D0001001 00
	2	m3			単第0 -0003 表
管路埋戻					Y1I01010102 レベル4
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
人力投入埋戻工 発生土	0.1	m3			SG1D0002001 00  単第0 -0005 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ) 発生土	1	m3			SG1D0002002 00  単第0 -0007 表
人力投入埋戻工 再生砂	0.4	m3			SG1D0002001 00  単第0 -0008 表
機械投入埋戻工(小型バックホウ) 再生砂	0.3	m3			SG1D0002002 00  単第0 -0009 表
発生土処理	1	式			Y1I01010103 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	1	m3			SG1E0003002 00  単第0 -0010 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分費	1	m3			F0001 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管	13.4	m			Y1I01010203 レベル4
硬質塩化ビニル管据付工 呼び径 50mm	13.4	m			SQ100 00 単第0 -0012 表
管材料	1	式			V0001 00 単第0 -0013 表
埋設標識テープ	8.9	m			Y1I01010216 レベル4
埋設表示シート 150mm ダブル	8.9	m			F0009 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎	8.9	m			Y1I01010301 レベル4
砂基礎工(人力施工)	0.2	m3			SG1D0019001 00 単第0 -0014 表
砂基礎工(機械施工)	0.2	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0015 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生砂	1	m <sup>3</sup>			T0249 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3
組立2号マンホール	1	箇所			Y1I01020203 レベル4
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
マンホール削孔費 2号(I種) 塩ビ管用	1	箇所			TH003164 00
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断	19	m			Y1I01060101 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	12	m			SPK25040307 00  単第0 -0016 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	7	m			SPK25040307 00  単第0 -0017 表
舗装版破碎(小規模)	7	m2			Y1I01060103レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	6	m2			SPK25040018 00  単第0 -0018 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	1	m3			SDT00031 00  単第0 -0019 表
殻運搬処理	0.3	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離5.0km以下(4.5km超)	0.3	m3			SPK25040155 00  単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 (As殻)	1	t			F00010 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超)	0.1	m3			SPK25040155 00  単第0 -0021 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 (Co殻)	0.2	t			F00011 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正	3	m2			Y1I01060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	3	m2			SPK25040234 00  単第0 -0022 表
下層路盤(車道・路肩部)	4	m2			Y1I01060302 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	4	m2			SPK25040235 00  単第0 -0023 表
上層路盤(車道・路肩部)	2	m2			Y1I01060304 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	2	m2			SPK25040237 00  単第0 -0024 表
表層(車道・路肩部)	3	m2			Y1I01060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	3	m2			SPK25040244 00  単第0 -0025 表
コンクリート舗装	0.1	m3			Y1I01060310レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			SPK25040157 00  単第0 -0026 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(車道・路肩部)	4	m2			Y1I01060408レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	4	m2			SPK25040244 00  単第0 -0027 表
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	11	人			R0369 00
<b>**直接工事費**</b> #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
<b>**共通仮設費計**</b>					
<b>**純工事費**</b>					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
***工事原価***					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
***工事価格***					
***消費税相当額*** 計算情報…… 対象額…… 率……					
***工事費計***					
***契約保証費計***					











# 施工単価表

頁0 -0016

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0006 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)  
発生土

SG1D0002002

単第0 -0007 表

頁0 -0017

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0004 表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3			B=6	材料別途	



# 施工単価表

機械投入埋戻工(小型バックホウ)  
再生砂

SG1D0002002

単第0 -0009 表

頁0 -0019

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-18_小型バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.13m3(平積0.10m3)	1.538	日			単第0-0004 表 100/65
タンパ締固め	100	m3			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.13m3 D=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			B=2	再生砂	



# 施工単価表

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0011 表

011\_オンロード ディーゼル

2t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	21.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      011_オンロード ディーゼル C=1      運転労務数量(人/日) E=1.29   機械損料数量(供用日/日)			B=1      2t積級 D=21     燃料消費量(L/日) F=1      路面状況:良好		



# 施工単価表

管材料

V0001

単第0 -0013 表

頁0 -0023

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
PE管 φ50	13.4	m			
PE45° ベンド φ50	6	個			
配管用鋼材 φ75	4.5	m			
90° エルボ φ50	1	個			
取付バンド	3	個			
TSフランジ	1	個			
ARパッキン	2	個			
*** 単位当たり ***	1	式			





# 施工単価表

頁0 -0026

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0016 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比:

26.52%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

頁0 -0028

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0017 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	8.92%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009







# 施工単価表

頁0 -0032

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0020 表  
 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離5.0km以下(4.5km超) 1 m3 当り  
 機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 4,751.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=22 運搬距離5.0km以下(4.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0021 表  
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離10.9km以下(8.0km超) 1 m3 当り  
 機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,053.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

# 施工単価表

頁0 -0034

不陸整正

SPK25040234

単第0 -0022 表

補足材料無し

1

m2 当り

機械構成比: 21.58%

労務構成比: 71.86%

材料構成比: 6.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

頁0 -0036

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0023 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

頁0 -0037

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0023 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 30~0mm	74.21%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		
<b>【路盤材単価】</b> 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0038

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0024 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0024 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
<b>【路盤材単価】</b> 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm): 120.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0040

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0025 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比:

10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.88%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.66%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.03%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

頁0 -0041

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0025 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.38%

労務構成比:

10.17%

材料構成比: 88.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.17%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0026 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

36.06%

材料構成比:

63.94%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

頁0 -0043

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0027 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

44.02%

材料構成比:

55.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,638.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.26%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	55.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.18%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0027 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

44.02%

材料構成比:

55.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,638.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 59 三原市 00-07. 10. 01(0)  G 下水道電気設備		≪凡例≫ Co …コンクリート      As …アスファルト DT …ダンプトラック      BH …バックホウ CC …クローラクレーン      TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
復興係数区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工 (機器費)					Y1800G レベル1
電気設備工	1	式			Y28001G レベル2
電気設備工	1	式			Y280011G レベル3
設計技術費対象外	1	式			Y28001102G レベル4
設備費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
**機器費**					
設備工					Y1900G レベル1
電気設備工	1	式			Y29001G レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390011G レベル3
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 284km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0002 表
材料費	1	式			Y390012G レベル3
直接材料費	1	式			Y49001201G レベル4
材料費	1	式			V0002 00 単第0 -0005 表
補助材料費	1	式			Y49001202G レベル4
補助材料費 (率分)	1	式			SY49202G 00 電気設備 単第0 -0012 表
労務費	1	式			Y390013G レベル3
一般労務費	1	式			Y49001301G レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費	1	式			V0003 00 単第0 -0013 表
技術労務費	1	式			Y49001302G レベル4
技術労務費	1	式			V0004 00 単第0 -0014 表
複合工費	1	式			Y390014G レベル3
複合工	1	式			Y49001401G レベル4
複合工	1	式			V0005 00 単第0 -0015 表
直接経費	1	式			Y390015G レベル3
機械経費	1	式			Y49001503G レベル4
機械経費 (率分)	1	式			SY49503G 00 電気設備 単第0 -0024 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
**直接工事費**					
準備費					Z0002
準備費					YZ902 レベル2
	1	式			
準備費					YZ902001 レベル3
	1	式			
準備費					YZ902001001 レベル4
	1	式			
運搬処分費					V0006 00
	1	式			单第0 -0025 表
共通仮設費率分					Z0010
計算情報…… 対象額……… 率………					対象額合計…
**共通仮設費**					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
***純工事費***					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
据付（技術者）間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					
据付（機 器）間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
***据付工事原価***					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
***工事原価***					
一般管理费率分額 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率… 対象額合計…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額











# 施工単価表

材料費

V0002

単第0 -0005 表

頁0 -0012

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管柱 φ 139.8×8m	1	本			
接地棒 φ 14×1500L	1	本			
リード端子 φ 14	1	個			
接地埋設標 黄銅製 140×90mm	1	個			
埋設表示シート 150mm ダブル 50m巻	2.0	m			
エントランスキャップ G28	1	個			
ステンレスバンド N005 φ 140	4	個			
PE管 PE28	1	式			単第0-0006 表
FPP管 FEP30	6.9	m			
HIVE管 HIVE16	1	式			単第0-0007 表
金属可とう管 30	2	m			
VVR 5.5 2芯	1	式			単第0-0008 表





# 施工単価表

HIVE管  
HIVE16

V0008

単第0 -0007 表

頁0 -0015

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
HIVE管 HIVE16	1.1	m			
雑材料	65	%			#01
*** 単位当たり ***	1	式			



# 施工単価表

CV

V00010

単第0 -0009 表

3.5 2芯

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
CV 3.5 2芯	2	m			
雑材料	1.5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	式			











# 施工単価表

複合工

V0005

単第0 -0015 表

頁0 -0023

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	7	m			単第0-0016 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	1	m3			単第0-0017 表
掘削 土砂 現場制約あり	0.3	m3			単第0-0018 表
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離20m以下	0.3	m3			単第0-0019 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	1	m3			単第0-0020 表
人力投入埋戻工	0.1	m3			単第0-0021 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	1	m2			単第0-0023 表
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

頁0 -0024

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0016 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比:

35.95%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	8.92%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009









# 施工単価表

頁0 -0029

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0020 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

36.06%

材料構成比:

63.94%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		



# 施工単価表

頁0 -0031

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0022 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1	-(全ての費用)				

# 施工単価表

頁0 -0032

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0023 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0023 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
<b>【路盤材単価】</b> 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					





# 施工単価表

頁0 -0036

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0026 表  
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) 1 m3 当り  
 機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,527.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		





# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07. 10. 01(0)		≪凡例≫ Co …コンクリート      As …アスファルト DT …ダンプトラック      BH …バックホウ CC …クローラクレーン      TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	F 下水道機械設備		
	当世代	前世代	
復興補正区分 前払金支出割合区分 週休補正区分 契約保証区分	00 補正なし 00 補正無し 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
設備工 (機器費)					Y1800F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y28003F レベル2
ポンプ設備工	1	式			Y280031F レベル3
設計技術費対象外	1	式			Y48003102F レベル4
機器費	1	式			V0001 00
	1	式			単第0 -0001 表
**機器費**					
設備工					Y1900F レベル1
ポンプ設備工	1	式			Y29003F レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
輸送費	1	式			Y390031F レベル3
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 284km 製品長 12m以内	1	式			S100007 00  単第0 -0002 表
材料費	1	式			Y390032F レベル3
直接材料費	1	式			Y49003201F レベル4
材料費	1	式			V0002 00  単第0 -0005 表
補助材料費	1	式			Y49003202F レベル4
補助材料費 (率分)	1	式			SY49202F 00  機械設備 単第0 -0006 表
労務費	1	式			Y390033F レベル3
一般労務費	1	式			Y49003301F レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般労務費 据付	1	式			V0003 00  単第0 -0007 表
機械設備据付労務費	1	式			Y49003302F レベル4
機械設備据付労務費	1	式			V0004 00  単第0 -0008 表
複合工費	1	式			Y390034F レベル3
複合工	1	式			Y49003401F レベル4
複合工	1	式			V0005 00  単第0 -0009 表
直接経費	1	式			Y390035F レベル3
機械経費	1	式			Y49003503F レベル4
機械経費 (率分)	1	式			SY49503F 00  機械設備 単第0 -0018 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設費	1	式			Y390036F レベル3
仮設費 (率分) ポンプ設備工	1	式			SY396F 00 機械設備 単第0 -0019 表
**直接工事費**					
準備費					Z0002
準備費	1	式			YZ902 レベル2
準備費	1	式			YZ902001 レベル3
準備費	1	式			YZ902001001 レベル4
運搬処分費	1	式			V0006 00
共通仮設费率分	1	式			単第0 -0020 表 Z0010

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
** 共通仮設費 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
据付間接費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 据付工事原価 **					
設計技術費 計算情報…… 対象額…… 率……					対象額合計…
** 工事原価 **					
一般管理费率分類 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
		機器補正率…			対象額合計…



















# 施工単価表

複合工

V0005

単第0 -0009 表

頁0 -0016

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	6	m			単第0-0010 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	3	m3			単第0-0011 表
掘削 土砂 現場制約あり	5	m3			単第0-0012 表
人力運搬(積込み～運搬～取卸し) 換算距離20m以下	5	m3			単第0-0013 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3			単第0-0014 表
人力投入埋戻工	3	m3			単第0-0015 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	1	m2			単第0-0017 表
*** 単位当たり ***	1	式			

# 施工単価表

頁0 -0017

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0010 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.11%

労務構成比:

50.94%

材料構成比: 35.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,264.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	8.92%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	17.37%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.50%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.79%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	32.35%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009









# 施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0014 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

36.06%

材料構成比:

63.94%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		



# 施工単価表

頁0 -0024

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0016 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000  
 1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

頁0 -0025

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0017 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0017 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
<b>【路盤材単価】</b> 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					







# 施工単価表

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0021 表  
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超) 1 m3 当り  
 機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,527.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1      Co(無筋)構造物とりこわし C=2      DID区間有り E=1      -(全ての費用)			B=1      機械積込 D=25      運搬距離5.7km以下(3.3km超)		



# 施工単価表

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0023 表

011 オンロード ディーゼル

2t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	21.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 2t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 2 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1      011_オンロード ディーゼル C=1      運転労務数量(人/日) E=1.29   機械損料数量(供用日/日)			B=1      2t積級 D=21     燃料消費量(L/日) F=1      路面状況:良好		

# － 数量総括表 －

令和 7 年度

三原西処理分区宅内マンホールポンプ新設工事(7-1)



[単独]

塩ビ管管布設工

管径 φ = 50 mm  
 表層舗装厚 = 0.05 m アスファルト  
 路盤舗装厚 = 0.10 m (上下路盤)  
 道路幅員 = m以下  
 掘削機種 = 0.13 m<sup>3</sup>BK  
 掘削底面幅 = 0.30 m

【素掘り】

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	掘削土量	埋戻土量		管体延長 m	A/R パッキン	曲管 45°	曲管 22° 1/2	継フランジ 手ジ	飛散防止 板			
					0.13 m <sup>3</sup>	発生土 m <sup>3</sup>										
5515	M-120	3.20	0.29	0.76	W1=0.452	W2=0.422		2.91	1	1						
	M-119	3.20		0.76	0.9	h=0.350										
5515	M-119	2.80		0.76	W1=0.452	W2=0.422		2.80	1	2						
	M-118	2.80		0.76	0.8	h=0.350										
計		6.00			1.7	0.8		5.71	2	3						

土 工	掘削	機械掘削工	0.13	m <sup>3</sup>	1.7	合計	
		埋戻	発生土	※埋め戻しは、舗装路盤下まで		m <sup>3</sup>	
	砂埋戻し	$V = \left\{ \frac{0.320 + 0.352}{2} \times 0.160 - \frac{\pi}{4} \times 0.06^2 \right\} \times 5.71$		m <sup>3</sup>	0.3	小数1位→	
	砂基礎工	$V = \frac{0.300 + 0.320}{2} \times 0.10 \times 5.71$		m <sup>3</sup>	0.2	小数1位→	
残土	$V = 1.7 - (0.8 / 0.9)$		m <sup>3</sup>	0.8	小数1位→	埋め戻し高さ = 0.260m ※掘削底から管頂+10cm ※市標準図参照。 管外径 = 0.06 砂埋め戻し高さ = 0.16 砂基礎高さ = 0.100 m	

[単独]

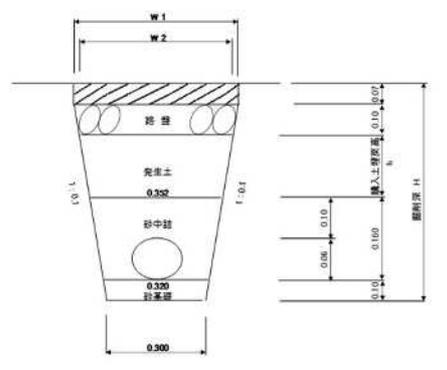
塩 び 管 管 布 設 工

管 径 φ = 50 mm  
 道 路 幅 員 = m以下  
 表 層 舗 装 厚 = 0.07 m コンクリート  
 掘 削 機 種 = 人 力 m<sup>3</sup>BK  
 路 盤 舗 装 厚 = 0.10 m (上下路盤)  
 掘 削 底 面 幅 = 0.30 m

【素掘り】

路 線 名	人 孔 番 号	人 孔 間 延 長 m	人 孔 減 長 m	掘 削 深 m	掘削土量	埋戻土量		管 体 延 長 m	A R パ ツ キン	曲 管 45°	曲 管 22° 1/2	継 フ ラン ジ						
					人 力 m <sup>3</sup>	発 生 土 m <sup>3</sup>												
5515	M-118	2.00																
	M-117	2.00						2.00		1								
5515	M-117	2.50																
	M-116	2.50						2.50		1								
5515	M-116	3.50		0.46	W1=0.392	W2=0.358												
	M-115	3.50	0.29	0.46	0.6	h=0.030	0.1	3.21		1		1						
計		8.00			0.6		0.1	7.71		3		1						

掘 削 埋 戻 工	掘	機械掘削工			m <sup>3</sup>	
			人力		0.6	合 計
	削					0.6
	埋	発生土	※埋め戻しは、舗装路盤下まで			m <sup>3</sup>
		砂埋戻し	$V = \{ (0.320 + 0.352) / 2 \times 0.160 - \pi / 4 \times 0.06^2 \} \times 7.71$			小数1位 → 0.4
戻	砂基礎工	$V = (0.300 + 0.320) / 2 \times 0.10 \times 7.71$			小数1位 → 0.2	
残	土	$V = 0.6 - (0.1 / 0.9)$			小数1位 → 0.5	



埋め戻し高さ = 0.260m  
 ※掘削底から管頂+10cm  
 ※市標準図参照。  
 管 外 径 = 0.06 m  
 砂 埋 め 戻 し 高 さ = 0.16  
 砂 基 礎 高 さ = 0.100



塩ビ管管布設付帯工

アスファルト

路線名	人孔番号	人孔管延長(m)	舗装切断工		路盤工		表層工		
			t = $\frac{m}{0.05}$	m	t = $\frac{m}{0.10}$	m <sup>2</sup>	A=舗装幅員×延長	m <sup>2</sup>	
5515	M-120 ~ M-118	6.00	2 × 6.00	12.00	0.38 × 6.00	2.3	0.42 × 6.00	2.5	
計		6.00		12.00		2.3		2.5	
既設舗装取壊し			2.5 m <sup>2</sup>	仮舗装取壊し			2.3 m <sup>2</sup>	b < 1.4 = 2.5 m <sup>2</sup> 1.4 ≤ b ≤ 3.0 = m <sup>2</sup> 3.0 < b = m <sup>2</sup> (b=施工幅)	
既設舗装取壊し			m <sup>2</sup>	仮舗装取壊し			m <sup>2</sup>		
舗装殻処分工 = 2.5 × 0.05 = 0.1 m <sup>3</sup>									

塩ビ管管布設付帯工

コンクリート

路線名	人孔番号	人孔管延長(m)	舗装切断工		路盤工		表層工	
			t = $\frac{m}{0.07}$	m	t = $\frac{m}{0.10}$	m <sup>2</sup>	A=舗装幅員×延長	m <sup>2</sup>
5515	M-116 ~ M-115	3.50	2 × 3.50	7.00	0.38 × 3.50	1.3	0.38 × 3.50	1.3
計		3.50		7.00		1.3		1.3
既設舗装取壊し			1.3 m <sup>2</sup>	仮舗装取壊し			1.3 m <sup>2</sup>	b < 1.4 = 0.1 m <sup>3</sup>
既設舗装取壊し(人力)			m <sup>2</sup>	仮舗装取壊し(人力)			m <sup>2</sup>	1.4 ≤ b ≤ 3.0 = m <sup>3</sup>
								3.0 < b = m <sup>3</sup>
								(b=施工幅)
舗装殻処分工 = 1.3 × 0.07 = 0.1 m <sup>3</sup>								

一般労務費・技術者労務費表

宅内	技術者 (人)	電工 (人)	普通作業員 (人)		機械設備据付工 (人)	普通作業員 (人)	備考
数量計算書	3.99	9.80	1.70				
電線管配管		1.35					
電線配線		1.18					
据付工数					1.23	0.08	
計	3.99	12.33	1.70		1.23	0.08	
設計数量	3	12	1		1	1	
	人	人	人		人	人	





材料集計表(配管)

配管区間		種類	PE	FEP	HIVE	HIVE	金属製可とう電線管				人工数
		サイズ	28	30	16	16	30				
		位置	露出	埋設	露出	埋設	露出				
自	至	m	m	m	m	m					
動力引込点	引込開閉器	4.00				1.00					
引込開閉器	制御盤	1.00				1.00					
制御盤	接地棒			0.80	0.30						
制御盤	マンホール	2.40	6.90								
合計数量	(A)	7.40	6.90	0.80	0.30	2.00					
補完率	(B)	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10					
合計(A)×補完率(B)	(C)	8.14	7.59	0.88	0.33	2.20					
統計数量(小数点2位)	(D)	8.14	7.59	0.88	0.33	2.20					
電工	単位工量	(E)	0.100	0.026	0.044	0.044	0.044				
	露出の場合	(F)	1.20		1.20		1.20				
	工量(D)×(E)×(F)	(G)	0.98	0.20	0.05	0.01	0.12			1.35 人	
下水道用設計積算要項 ポンプ場、処理場施設											
2025年 項数		P177	P180	P177	P177	P177					
歩掛りの根拠		1	1	1	1	1					

《注》 1. 下水道用設計積算要項による



## B-9

## 建柱基礎工・電線管土工

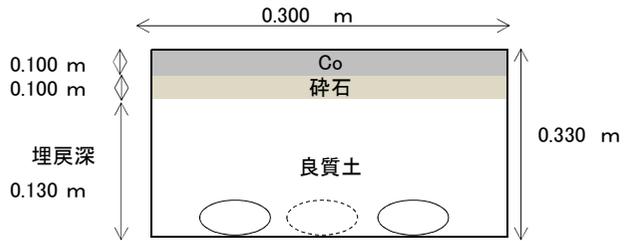
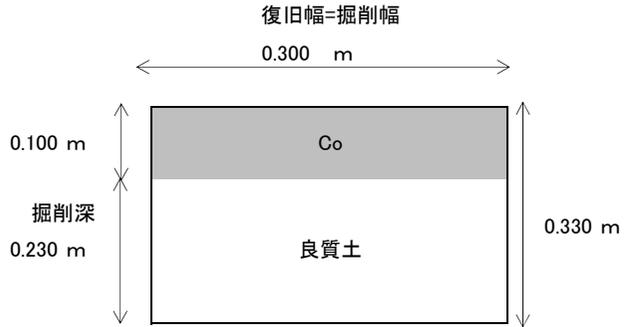
名 称	形 状 寸 法		建柱基礎工	電線管布設工					数 量	単 位
舗装切断工	t=20cm以下		2.40	4.60					7.00	m
舗装取壊工	t=15cm以下		0.36	0.60					1.0	m <sup>2</sup>
掘削工			0.18	0.14					0.3	m <sup>3</sup>
埋戻工				0.07					0.1	m <sup>3</sup>
残土処分	土 砂		0.18	0.06					0.2	m <sup>3</sup>
ガラ処分	Co 塊		0.04	0.06					0.1	m <sup>3</sup>
建柱基礎工		Co	0.21	0.60					1	m <sup>3</sup>
基礎工・復旧工		t=								m <sup>2</sup>
		Co t=	0.21	0.60					0.1	m <sup>3</sup>
		路盤 t=	0.21	0.60					1	m <sup>2</sup>
埋設明示シート				2.00					2.0	m



電線管土工 C-5

掘削 Co 舗装 舗装厚t= 0.100 m  
 埋戻 Co 舗装 舗装厚t= 0.100 m  
 土工延長 L= 2.00 m

土被り 水位計用管φ (ポンプ用管φ)  
 深さ= 0.300 + 0.030 0.030  
 = 0.330



ポンプ用φ 0.030 2 本  
 水位計用φ 0.030 1 本

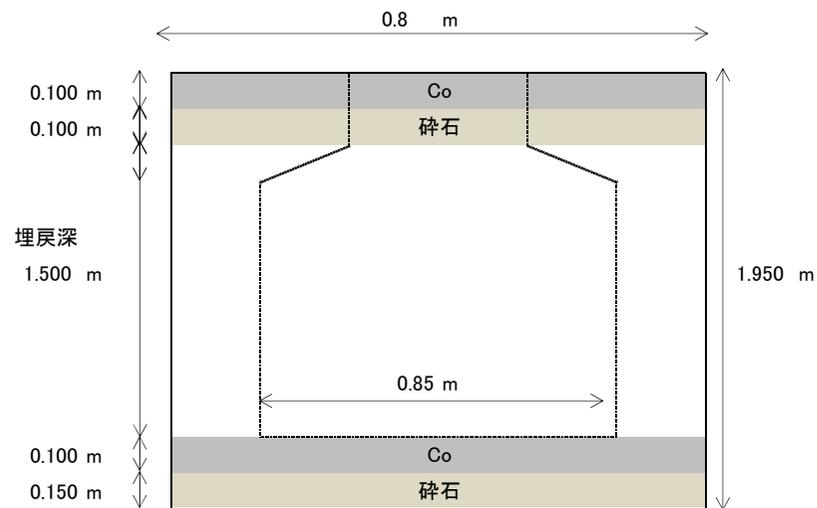
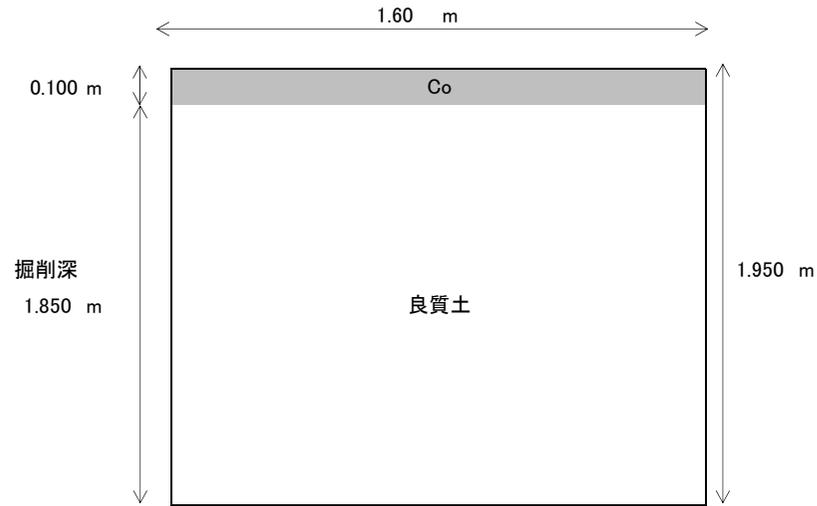
名称	形状寸法	計算式	数量
舗装切断工	t=20cm以下	$L = ( 2.00 + 0.30 ) \times 2$	4.60 m
舗装取壊工	t=15cm以下	$A = 2.00 \times 0.300$	0.60 m <sup>2</sup>
掘削工		掘削幅 掘削深 延長 $V = 0.30 \times 0.230 \times 2.00$	0.14 m <sup>3</sup>
埋戻		埋戻幅 埋戻深 延長 $埋戻 = 0.30 \times 0.130 \times 2.00 = 0.078$ 減分 $\pi/4 \times 0.030 \times 0.030 \times 2.00 \times 2 = 0.003$ 減分 $\pi/4 \times 0.030 \times 0.030 \times 2.00 \times 1 = 0.001$ $V = 0.078 - 0.003 - 0.001$	0.07 m <sup>3</sup>
残土処分	土 砂	$V = 0.14 - 0.07 / 0.9$	0.06 m <sup>3</sup>
ガラ処分	Co 塊	$V = 0.60 \times 0.10$	0.06 m <sup>3</sup>
復旧工	表層工	Co t= 0.100 mm	0.60 m <sup>2</sup>
	路盤工	碎石 t= 0.100 mm	0.60 m <sup>2</sup>
埋設明示シート			2.00 m

## B-11

## 立坑工

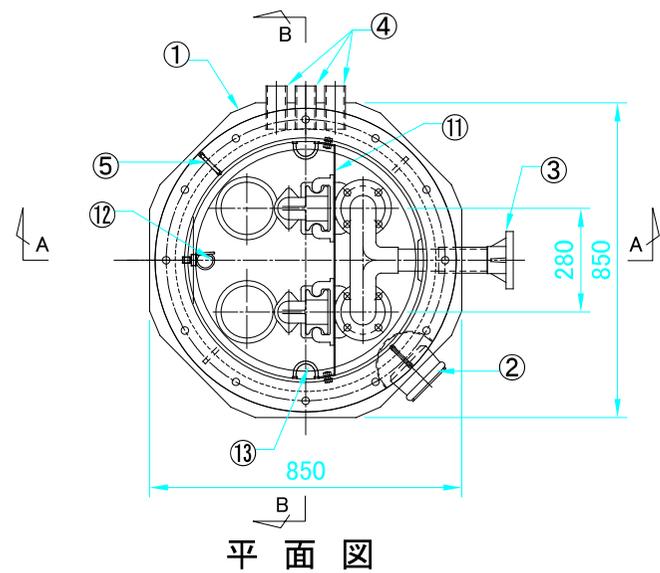
名 称	形 状 寸 法		マンホールユニット設置工					数 量	単 位
舗装切断工	t=20cm以下		6.40					6	m
舗装取壊工	t=15cm以下		2.56					3	m <sup>2</sup>
掘削工			4.74					5	m <sup>3</sup>
埋戻工			2.99					3	m <sup>3</sup>
残土処分	土 砂		1.41					1	m <sup>3</sup>
ガラ処分	Co 塊		0.26					0.3	m <sup>3</sup>
基礎工		Co t= 0.100	0.26					0.03	m <sup>3</sup>
		碎石 t= 0.150	0.38					0.4	m <sup>2</sup>
復旧工	表層	t=							m <sup>2</sup>
復旧工	表層	Co t= 0.100	0.23					0.02	m <sup>3</sup>
	路盤工	碎石 t= 0.100	0.23					0.2	m <sup>2</sup>
基礎工+復旧工	表層	Co t= 0.100	0.05					0.1	m <sup>3</sup>
基礎工+復旧工	路盤工	碎石 t= 0.100	0.61					1	m <sup>2</sup>
	切梁 水圧式サポート								m

掘削	Co	舗装	舗装厚t=	0.100	m
埋戻	Co	舗装	舗装厚t=	0.100	m
ユニット 寸法			φ	0.85	m
ユニット 高				1.70	m
長さ	L=	1.60	×	1.60	m
深さ	D=			1.95	m
復旧幅=掘削幅					

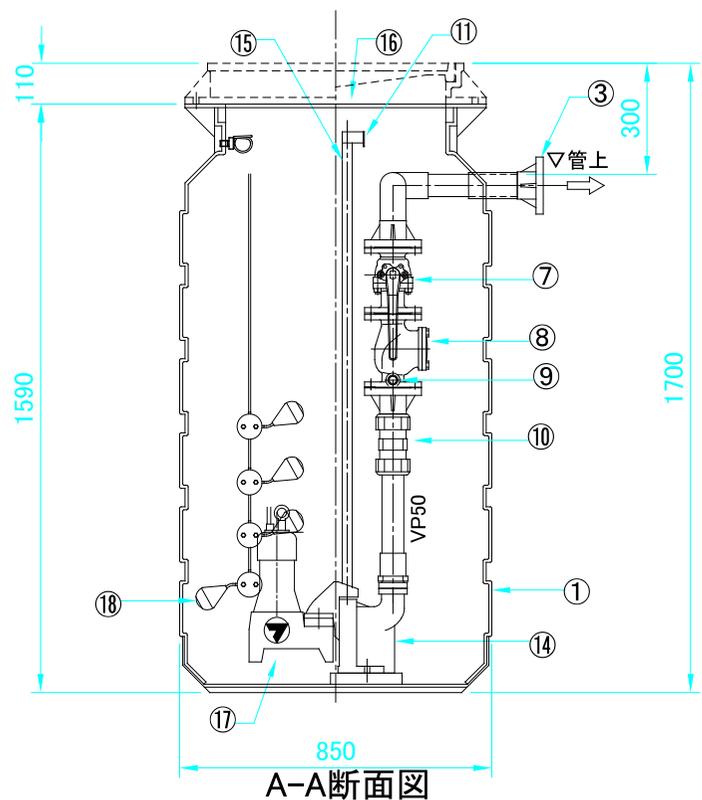


名称	形状寸法	計算式	数量
舗装切断工	t=20cm以下	$L = (1.600 + 1.600) \times 2$	6.40 m
舗装取壊工	t=15cm以下	$A = 1.600 \times 1.600$	2.56 m <sup>2</sup>
掘削工		掘削幅 $V = 1.600 \times 1.600 \times 1.850$	4.74 m <sup>3</sup>
埋戻工		埋戻幅 $埋戻 1.600 \times 1.600 \times 1.500$ = 3.84 減分 $0.850 \times 0.850 \times 1.500 \times \pi/4$ = 0.85 $V = 3.84 - 0.85$	2.99 m <sup>3</sup>
残土処分	土砂	$V = 4.74 - 2.99 / 0.9$	1.41 m <sup>3</sup>
ガラ処分	Co塊	$V = 2.56 \times 0.10$	0.26 m <sup>3</sup>
基礎工	Co	t= 0.10 m	0.26 m <sup>3</sup>
基礎工	碎石	t= 0.15 m	0.38 m <sup>3</sup>
復旧工	表層工	Co t= 0.100 m 表層分 0.256 減分(蓋) 0.03	0.23 m <sup>3</sup>
	路盤工	碎石 t= 0.100 m 表層分 0.256 減分(蓋) 0.03	0.23 m <sup>3</sup>
土留工	アルミ矢板	× 2	m
支保工	腹起し アルミ製	× 2	m
	切梁 水圧式サポート	× 2	m

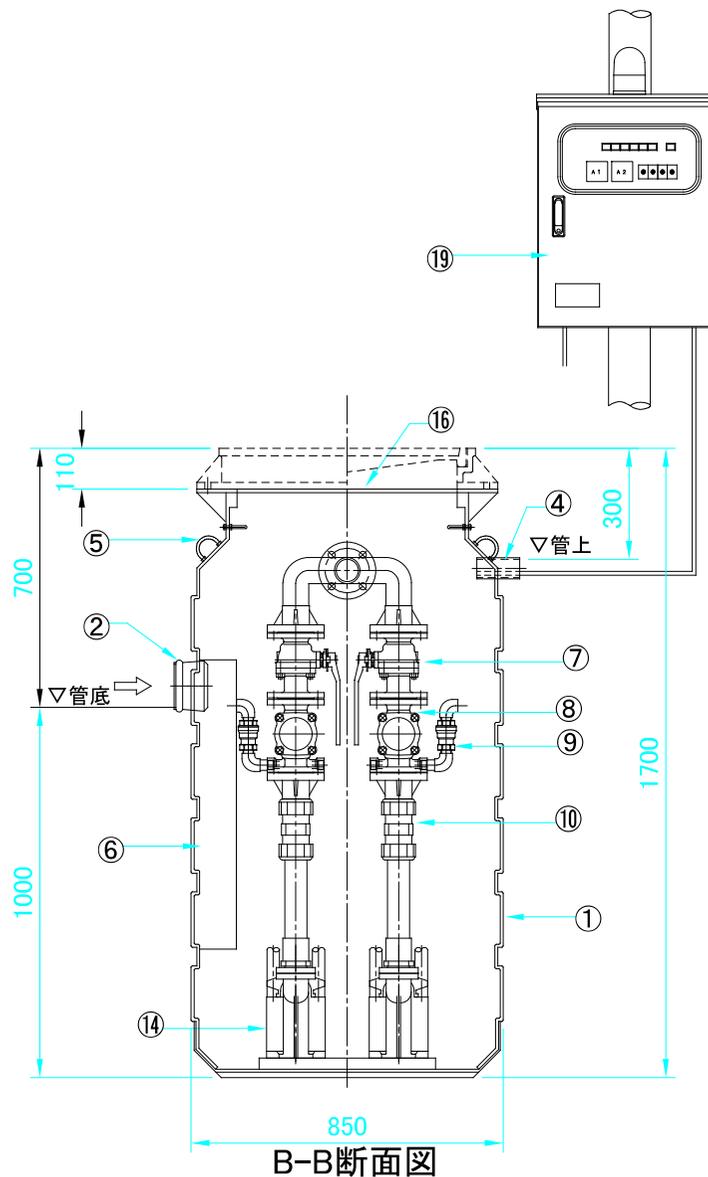
番号	名称	規格・材質	個数
1	タンク本体	PVFR製	1
2	流入口	VU100ゴム輪受け口	1
3	圧送口	TSフランジ50A JIS10K	1
4	ケーブル取り出し口	TS40	3
5	吊り金具	SUS	2
6	波動防止管	PVC	2
7	ボールバルブ	50A SCS製	2
8	汚物用逆止弁	50A SCS製	2
9	エア抜き	20A SUS製	2
10	伸縮継手	50A PVC	2
11	ハンガー金具	SUS製	1
12	フロート用フック	SUS製 落下防止付	1
13	チェーン用フック	SUS製	2
14	着脱装置	樹脂製	2
15	ガイドパイプ	SUS製	4
16	マンホール	Φ600 鋳物製 受けフランジ付き	1
17	汚物用水中ポンプ	樹脂/SUS ケーブル6m 1φ100V 0.4kW	2
18	フロートスイッチ	ケーブル6m	4
19	制御盤	屋外装柱型	1



平面図



A-A断面図

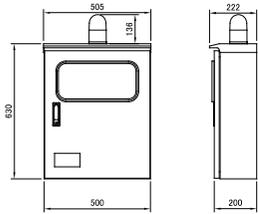


B-B断面図

令和7年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区分区内マンホールポンプ 新設工事 (7-1)		
工事場所	三原市 西宮二丁目		
施工管番号	5515		
図面番号	縮尺	図示	
平面図・縦断面図			
三原市			

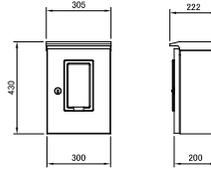
# マンホールポンプユニット電気設備図(参考図)

## 制御盤 (S=Free)



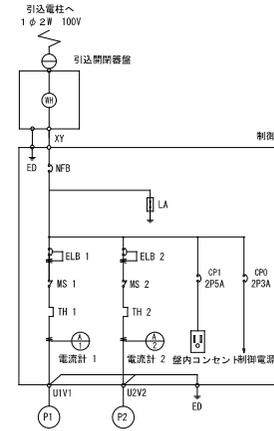
材質:SPCC  
 塗装色:SY7/1  
 重量:約30Kg  
 ボックスキー:No. 200

## 引込開閉器盤 (S=Free)



材質:SPCC  
 塗装色:SY7/1  
 重量:約10Kg  
 ボックスキー:H-28

## 制御盤単線結線図



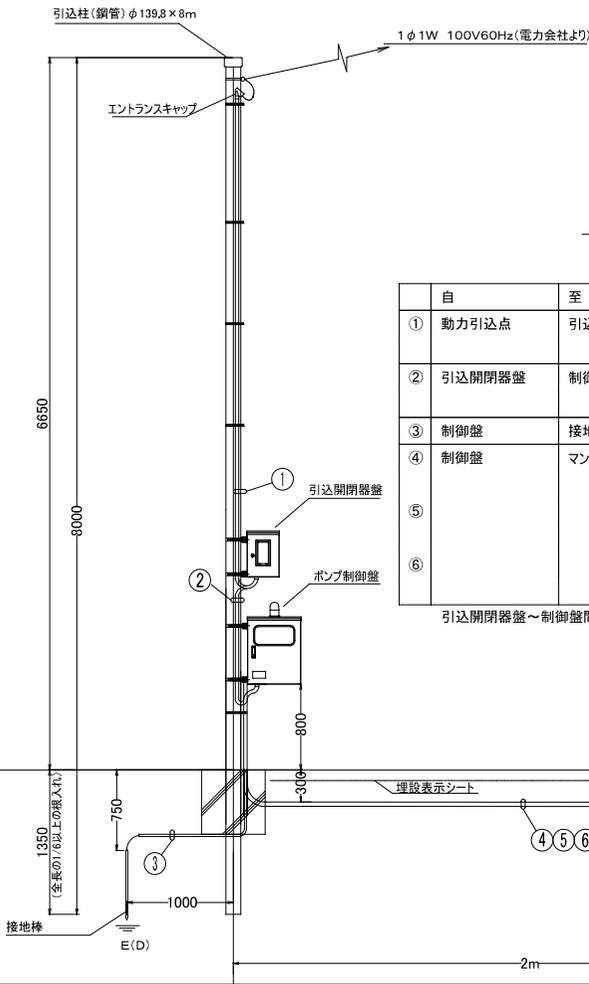
記号	名称
NFB	ノーヒューズブレーカー
LA	アレスタ
ELB	漏電遮断器
MS	電磁接触器
CPO	サーキットプロテクタ

記号	0.15 kw	0.25 kw	0.4 kw
NFB	20	20	30
ELB 1 2	10	10	15
TH 1 2	3.6	6.6	9.0

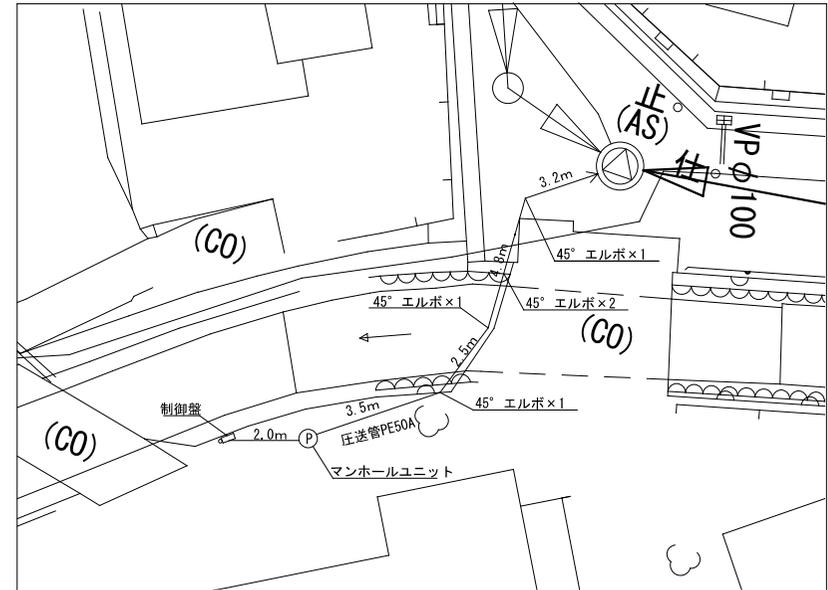
## 動力引込図及び動力配線図(参考図)

自	至	電線	距離	電線管	距離
① 動力引込点	引込開閉器盤	CV 5.5mm <sup>2</sup> × 2芯	5.0 m	PE 28 金属製可とう管	4.0 m
② 引込開閉器盤	制御盤	CV 3.5mm <sup>2</sup> × 2芯 IV 3.5mm <sup>2</sup> (アース線)	2.0 m	PE 28 金属製可とう管	1.0 m
③ 制御盤	接地棒	IV 5.5mm <sup>2</sup> (アース線)	4.0 m	HIVE 16	1.1 m
④ 制御盤	マンホールユニット	No.1 ポンプ付属線 (VCT 1.25mm <sup>2</sup> × 3芯)	10.0 m	PE 28 FEP 30	0.8 m 2.3 m
⑤		No.2 ポンプ付属線 (VCT 1.25mm <sup>2</sup> × 3芯)	10.0 m	PE 28 FEP 30	0.8 m 2.3 m
⑥		フロー式水位計付属線×4本 (CVF 0.3mm <sup>2</sup> × 2芯)	10.0 m	PE 28 FEP 30	0.8 m 2.3 m

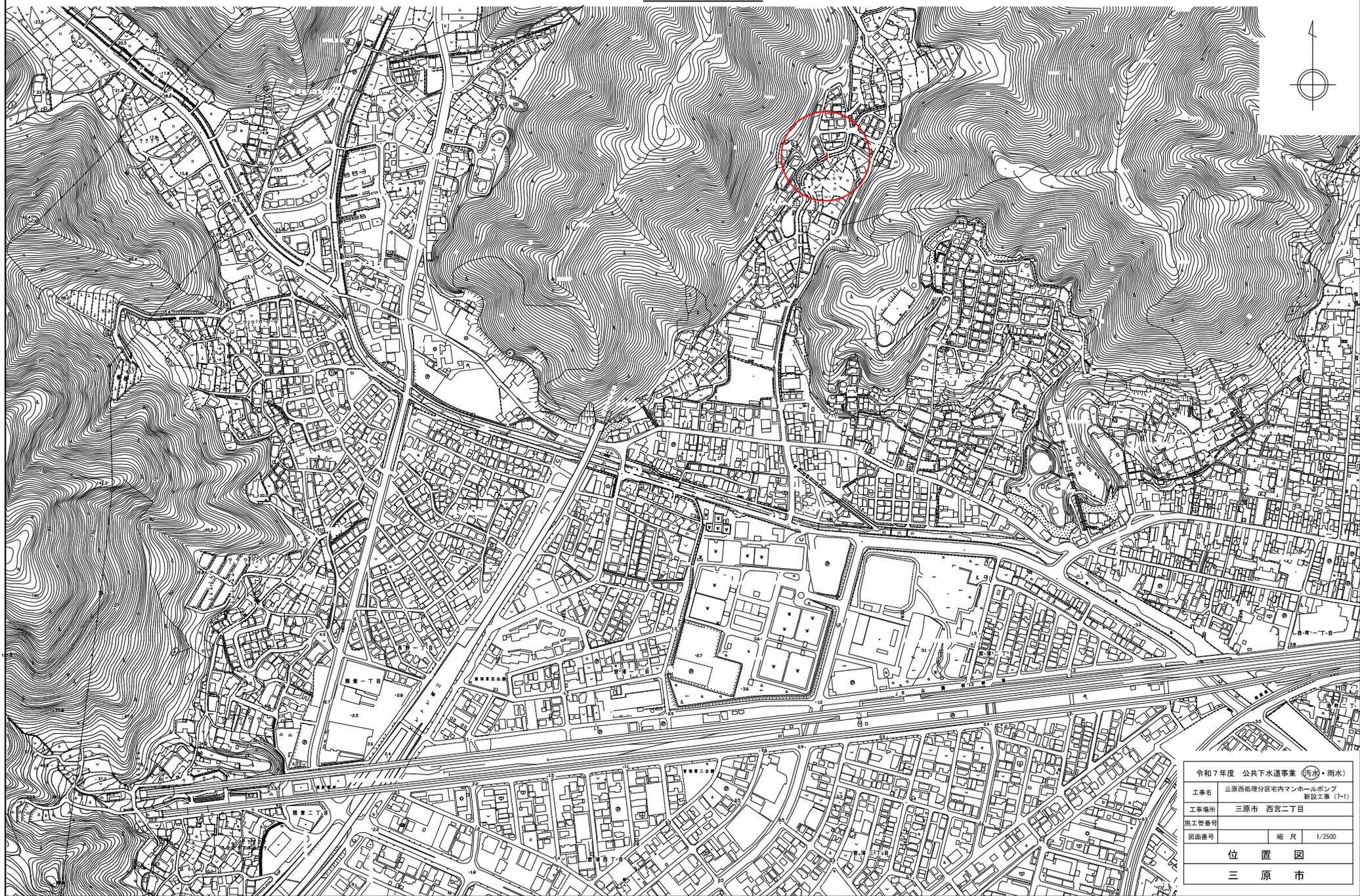
引込開閉器盤～制御盤間のCV線とアース線は同一管内配管です



## 平面図 (S=Free)



令和7年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)	
工事名	三原西処理分区分宅内マンホールポンプ 新設工事 (7-1)
工事場所	三原市 西宮二丁目
施工業者	5515
図面番号	縮尺 図示
平面図・縦断面図	
三原市	



令和7年度 公共下水道事業 (汚分・雨水)	
工事名	三原西処理分区分宅内マンホールポンプ 新設工事 (7-1)
工事場所	三原市 西宮二丁目
施工管理番号	
図面番号	縮尺 1/2500
位置図	
三原市	